平成28年6月20日

学校長　様

担当者　様

　学校法人静岡理工科大学

静岡北中学校・高等学校

校長　廣住　雅人

（公　印　省　略）

**「21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム」参加校募集**

**Shizuoka Kita Youth Science Engineering Forum 2016（SKYSEF2016）**

陽炎の候、各校におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、昨年に引き続き、平成28年8月に「21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム（SKYSEF2016）」を開催する運びとなりました。

SKYSEFでは、生徒が一堂に会する環境にいるからこそ経験できることを大切にしていきたいと思っております。その一つのあり方として、課題研究に関する質疑応答や国際共同プロジェクトにおける科学的議論を充実させ、多様な国内外の生徒たちが、英語による科学コミュニケーションを着実かつ集中的に行うことができることを目指していきます。

SKYSEF2016では特に、正解・不正解のない昨今の社会において、科学的な評価・判断を通して科学技術を社会に望ましい形に調整し、新しい価値観を社会の中で議論する場を他と協同して作り出すことまでを自律的かつ自発的に実践することを重視した国際共同プロジェクトを企画しております。これにより、事象を科学的に探究する活動を超えて、科学技術に対して責任と使命感を持ち、意欲的に行動し、長期にわたり考え続ける人材育成の一助となればと願っております。

つきましては、添付の「開催概要」とともに御案内申し上げます。

本フォーラムが素晴らしいものとなりますよう、関係各位の御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

本件に関する問合せや各書類送信先

学校法人　静岡理工科大学　静岡北中学校・高等学校　担当：高橋みどり

〒420-0911　静岡県静岡市葵区瀬名5丁目14番1号

Tel: 054-261-5801　　　Fax: 054-262-5573

E-mail: SKYSEF”\_at\_”shizuokakita-h.ed.jp (“\_at\_”を@に変えてください。)

SKYSEF2016の開催概要

1.　SKYSEFの目的は、自らの研究結果に基づいてコミュニケーションする場を中高生に提供し、国内外の生徒と議論することによって、生徒は科学研究の諸能力を高め、教員は効果的な指導法を構築することです。

2.　SKYSEFは、平成28年8月10－13日に清水テルサおよび静岡理工科大学で開催の予定です。

3.　参加対象生徒は中学校1年－高等学校3年の生徒です。

4.　SKYSEF2016での使用言語は英語です。

5.　日程（案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 行程 | 時間 | 実施内容 |
| 生徒 | 教員 |
| 1日目8月10日（水） | 午後 | 受付（資料受取、国際文化交流データ・口頭発表データ・ポスター提出）**オリエンテーション、ウェルカム・レセプション、国際文化交流** |
| 2日目8月11日（木） | 午前 | **開会挨拶、参加校紹介、基調講演**（最先端の研究者の基調講演） |
| **口頭発表会**（3分野に分かれて英語で口頭発表）①エネルギー　②環境　③生物多様性 | **教員レポート１**生徒の発表活動を補助すると共に他校の研究発表を評価する。 |
| 午後 |
| **ポスターセッション** |
| 3日目8月12日（金） |  | **国際共同****プロジェクト** | **レクチャー**テーマおよび背景を理解する | **教員レポート2**生徒の活動を補助すると共に自校と他の生徒の変容をレポートする。 |
| **ディスカッション**テーマに基づいて、科学技術の評価・判断を通して望ましいあり方をグループごとに提案する |
| **教員セッション**レポート共有・生徒への効果検証 |
| 4日目8月13日（土） | 午前 | 生徒の活動を補助すると共に改善点をまとめる。 |
| 午後 | **プレゼンテーション**活動内容をまとめ、発表する |
| **講評、表彰式、閉会式** |

6．その他　①参加申し込みは締め切りました。

②8月11日のプログラムへの御参加は7月7日まで受け付けており、「『21世紀の中高生による国際科学技術フォーラムShizuoka Kita Youth Science Engineering Forum 2016』における課題研究発表会の御案内」にて別途ご案内しております。科学技術振興機構ウェブサイト（https://ssh.jst.go.jp/）「指定校の発表会情報」をご参照ください。